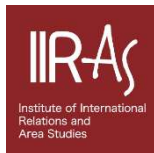


入場無料



立命館大学
国際関係研究科



日時:

2018年

11月9日(金)

14:40-16:10

講師:

久保忠行

大妻女子大学比較文化学部
准教授

場所:

立命館大学

衣笠キャンパス

KS208

(恒心館)

久保忠行氏

人びとの生き抜くちからに魅了されて難民の定住地で調査を実施。これまでにタイ、ビルマ(ミャンマー)、日本、アメリカでフィールドワークを行う。日本学術振興会特別研究員PD(京都大学東南アジア研究所)、立命館大学衣笠総合研究機構・専門研究員を経て現職。博士(学術)。専攻は人類学、移民・何院研究、東南アジア研究。著書に『難民の人類学—タイ・ビルマ国境のカレンに—難民の移動と定住—』(2014年、清水弘文堂書房)など多数ある。

移民・難民・棄民 —タイ・ミャンマー—国境から—

お問い合わせ:

松田正彦(立命館大学国際関係学部・教授)

matsu@ir.ritsumeai.ac.jp

主催

- ・立命館大学大学院国際関係研究科
- ・ASEAN共同体時代の人間の安全保障プロジェクト(アジア日本研究所推進プログラム)
- ・セキュリティ・ガバナンス研究会(国際地域研究所)

